

## 2 歳児 年間指導計画

年間目標 ◎一人ひとりが安心して園生活を送り、十分に自己発揮できるようにする。

◎養護 ○保育者との安定したかかわりのなかで、基本的な生活習慣の自立を目指し、身の回りのことを自分でしようとする気持ちをもつ。

○教育 ○自分の思いを言葉や行動で表現できるようになる。 ○葛藤体験を味わいながら、少しずつ気持ちのコントロールができるようになる。

★食育 「食べてみよう！」…様々な楽しい経験を通し、色々な食材を自分で食べてみようとする。(食育年間計画参照)

○様々な体の動きを十分に楽しみ、しなやかな体になっていく。

		I 期 (4～5月)	II 期 (6～8月)	III 期 (9～12月)	IV 期 (1～3月)
ねらい ◎養護 ○教育		◎新しい環境のなかで、保育士が不安や欲求を受けとめながら安心して過ごせるようにする。 ◎保育士に甘えや欲求を受けとめてもらいながら、安心して自分の気持ちを表す。 ○保育士に見守られながら、好きな遊びを見つけて遊ぶ。 ○春の自然の中で探索活動をしたり、保育士と一緒に好きな遊びを見つけたりして楽しむ。  ○ボルダリングあそびを通して、忍耐力、思考力、集中力を養いながら、基礎的な体力づくりをしていく。	◎暑さや日差しに留意し、水分補給を十分にし、夏期を健康で快適に過ごせるようにする。 ○夏ならではの遊びを存分に楽しむ。 ○保育士に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ○自分の思いや経験したことなどを言葉で伝えようとする。	◎季節の変化や気温差に留意しながら、健康に過ごせるようにする。 ○身の回りの事に関心を持ち、意欲を持って取り組む。 ○ごっこ遊びを通して、保育士や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○友だちや保育士の真似をして体を動かして遊ぶ事を楽しむ。 ○生活や遊びのイメージのなかで、保育士や友だちと言葉でのかかわりを楽しむ。 ○秋の自然に触れながら、保育士や友だちと関わって遊ぶことを楽しむ。	◎感染症が流行する時期なので、こまめに消毒するなど感染予防に心がけ、冬の寒い時期を健康に過ごせるようにする ○進級することに期待をもち、身の回りのことを自分でできることに喜びを感じる。 ○生活習慣が身に付き、自分で行動しようとする。 ○ごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを通して、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わい、関わりを深めていく。 ○見立て・ごっこ・つもり遊びを通して、イメージを豊かに広げ、共有して友だちと一緒にごっこあそびを楽しむ。
内容(養護・教育)	健康・人間関係・環境・言葉・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい生活の場に少しずつ慣れていく。</li> <li>●新しい食事の場に慣れ、保育士や友だちと喜んで食べる。</li> <li>●トイレに行き、援助されながら安心して排泄をする。</li> <li>●自分でズボンや靴をはいたり片づけたりする。</li> <li>●おやつや食事の前、トイレの後、外から帰って来た時に手を洗うことが分かり、自分で洗おうとする。</li> <li>●生活リズムが落ち着き、寄り添ってもらいながら安心して眠る。</li> <li>●保育士や友だちと信頼関係を築き、安心して過ごす。</li> <li>●保育士や友だちと好きな遊びを見つけて遊ぶ。</li> <li>●身近な虫や草花に触れながら、戸外遊びを楽しむ。(散歩を含む)</li> <li>●保育士に好きな絵本を読んでもらうことを楽しむ。</li> <li>●生活や遊びのなかで、言葉のやりとりを楽しむ。</li> <li>●簡単なわらべうた遊びや季節の歌、好きな歌を保育士と一緒に歌って楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スプーンを使い、正しく持って食べる。正しい姿勢を保って食べる。</li> <li>●スプーンを正しく使えるようになってきたら箸を使って食べる。(箸への移行については個々の様子に合わせて無理をさせずすすめる)</li> <li>●尿意や便意を感じてトイレに行き、排泄をする。</li> <li>●色々な感触あそびを存分に楽しむ。</li> <li>●「自分で!」「いやだ!」など、自己主張をしたりする。</li> <li>●身近な虫や草花に触れながら、戸外遊びを楽しむ。</li> <li>●リズムに合わせて体を動かしたり追いかっこをしたりして楽しむ。</li> <li>●興味をもって水やりなどの菜園活動や給食のお手伝いをし、食材に興味をもって意欲的に食べる。また、収穫した野菜を使って、調理士や保育士、友だちと一緒にクッキングを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全身を使った遊びができるよう、安全に配慮する。</li> <li>●苦手なものも少しずつ食べてみようとする。</li> <li>●声かけにより、衣服の前後や靴の左右が逆になっていることに気づき、直そうとする。</li> <li>●保育士や友だちとままごとやごっこあそびを楽しむ。</li> <li>●走る・跳ぶ・登るなど体を使った遊びを楽しむ。</li> <li>●自分の思い通りにならないときの心の葛藤をきちんと受けとめてもらうことで、自分の気持ちを切り替えられる。</li> <li>●落ち葉や木の実などを見つけ、形や色、大小などに関心をもって、集めたり、遊びに使ったりして親しむ。</li> <li>●サツマイモの成長や葉・ツルなどに興味を持ち、芋ほり体験をする。収穫したサツマイモでクッキングを楽しむ。</li> <li>●保育士や友だちと一緒に言葉のやりとりを楽しみながら、絵本や紙芝居の好きな場面を再現して遊ぶ。</li> <li>●気の合う友だちとままごとや模倣あそび、ごっこ遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康管理に十分注意し、寒い季節を元気に過ごせるようにする。</li> <li>●少し手伝ってもらいながら、身の回りのことをだいたいできるようにする。</li> <li>●保育士と一緒に遊んだものや使ったものを元に戻そうとする。</li> <li>●尿意を感じたら、自分でズボン・パンツをおろして排泄する。</li> <li>●ごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを保育士や友だちと一緒に楽しむ。</li> <li>●異年齢の友だちとかかわり、一緒に遊んだり、かわいがったりすることを喜ぶ。</li> <li>●冬の自然事象(霜、雪、氷)に関心をもち、触れて遊ぶ。</li> <li>●生活に必要な言葉をほぼ理解できるようになる。</li> <li>●繰り返しのある物語絵本や紙芝居を喜ぶ。</li> <li>●好きなおはなしをもとに、保育士や友だちとごっこ遊びを楽しむなかで役になりきって遊ぶ。</li> <li>●指先を使った遊びをじっくり楽しむ。</li> </ul>
	環境および配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食事、排泄、睡眠などが安心できるよう、ゆったりとした生活リズムと雰囲気づくりを心がける。</li> <li>●育ってきた過程を大切に、新しい環境に無理なくなじんでいけるようにする。</li> <li>●一人ひとりの気持ちを受けとめ、信頼関係を築いていく。</li> <li>●好きな遊びを存分に楽しめるよう、子どもの興味に応じて遊具や用具を準備する。</li> <li>●子どもの発達を把握し、一人ひとりの生活面やあそびにおける援助について、職員間で共通認識をし、保育をすすめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●清潔で心地よい環境を整えておく。</li> <li>●自分でしようという気持ちを大切に、ゆったりとかかわる。</li> <li>●子どもたちの目の前で野菜や果物の皮をむいたり切りわけたりするなど、生活のなかで食べるものを見たり触れたりする機会をもつ。</li> <li>●夏のいろいろな遊びを取り入れ、保育士と一緒に遊ぶなかで楽しさや面白さを味わえるようにしていく。</li> <li>●自己主張やものの取り合いによるトラブルが多いが個々の気持ちを受けとめ、互いの気持ちを代弁しながら相手の気持ちにも気づくことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体調や気候に合わせて衣服の調節をしながら、薄着の習慣をつけていく。また、衣服や靴が子どものサイズに合っているか確認し、保護者にも伝える。</li> <li>●子どもの気持ちを受けとめ、一人ひとりの状態に応じて手助けをし、自分でできたことを認めることで意欲につなげる。</li> <li>●戸外で自然に触れてのびのびと遊べるよう、散歩などの活動を多く取り入れ、体や感覚を刺激していく。</li> <li>●保育士が仲立ちとなり遊びを個から集団へと広げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人差に留意し、できるようになったことを一つひとつ子どもと一緒に喜ぶようにする。</li> <li>●保育士と一緒に楽しんで遊びながら、仲間関係を育てていくように遊具や場の工夫をし、援助していく。</li> <li>●異年齢の友だちとも遊ぶ経験ができるように、保育士間の連携を図り、交流できる場を多くもつようにする。</li> </ul>
	家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進級し、少しずつ新しい環境に慣れていく様子を、送迎時や連絡帳などを活用して伝え合うまた、園や家庭での様子を細かく伝え合いながら、安心感を持ってもらえるようにしたり、信頼関係を築いたりしていく。</li> <li>●布パンツへ移行する際には、園と家庭とが同じ対応でトイレトレーニングを進めていけるよう話をしていく。</li> <li>●困っていること、不安なことをいつでも一緒に考えていけるよう、対話を大切にしていく。</li> <li>●朝ごはん、早寝早起きの大切さを伝え、生活リズムが整うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己主張は自我の育ちとして丁寧に受け止めていく事や関わり方について共通理解していく。</li> <li>●水遊びのための準備などをお願いし、遊んだ様子を伝え、夏ならではの遊びを十分に楽しめるように連携をとっていく。</li> <li>●体調を崩しやすく、感染症が広がりやすい時期であるため、毎日の健康状態を把握し合い、少しでも変化が見られる場合や異常のある場合は早めに受診するようお願いする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薄着の習慣や大切さや日中の活動の様子を伝え、気温に合わせて調節しやすい衣服の準備をしてもらうよう伝えていく。</li> <li>●インフルエンザの予防接種を勧めていく。</li> <li>●あそびや生活の様子、行事に取り組む姿など、一人ひとりの姿を伝え、成長を喜び合う。</li> <li>●家庭でも着脱の仕方を知らせてもらい、自分でもやってみようと思える援助をしてもらえるよう、働きかけていく。子ども自身が「じぶんでできた!」という喜びを味わえるように見守ってもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●流行している感染症を知らせ、家庭でも子どもの体調管理に十分気を付けてもらう。</li> <li>●園での衣服の着脱の様子を知らせ、家庭でも自分でできた喜びや満足感を味わえるよう、自分でしようとする姿を見守ってもらえるようにする。</li> <li>●進級に向けて心配や不安がある保護者に対して、丁寧に話を聞き、園での様子を伝えていくように心がける。</li> <li>●保護者と密にコミュニケーションを図りながら、子ども一人ひとりの成長をともに喜び、進級に向けて安心していけるようにする。(3月に個人懇談を行う)</li> <li>●あそびや生活の姿など一人ひとりの成長の様子を伝え、喜び合う。</li> </ul>
	評価・反省				